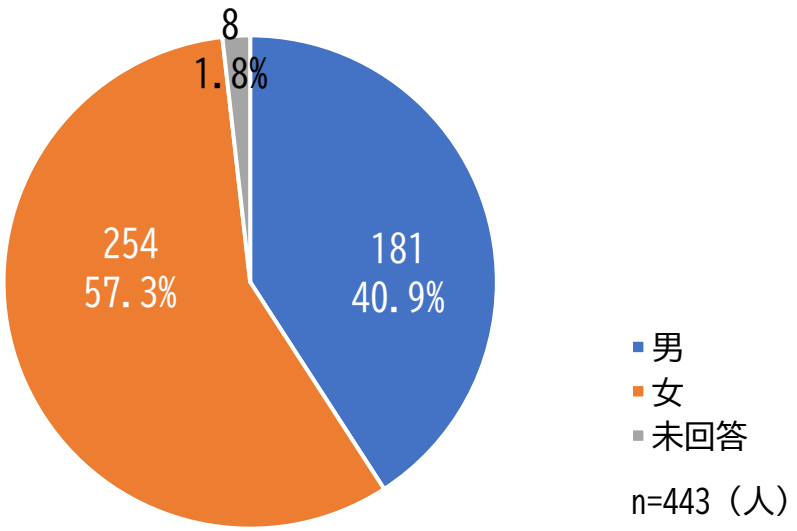
宿泊税に関するアンケート調査（観光客向け）の集計結果について

１　調査概要

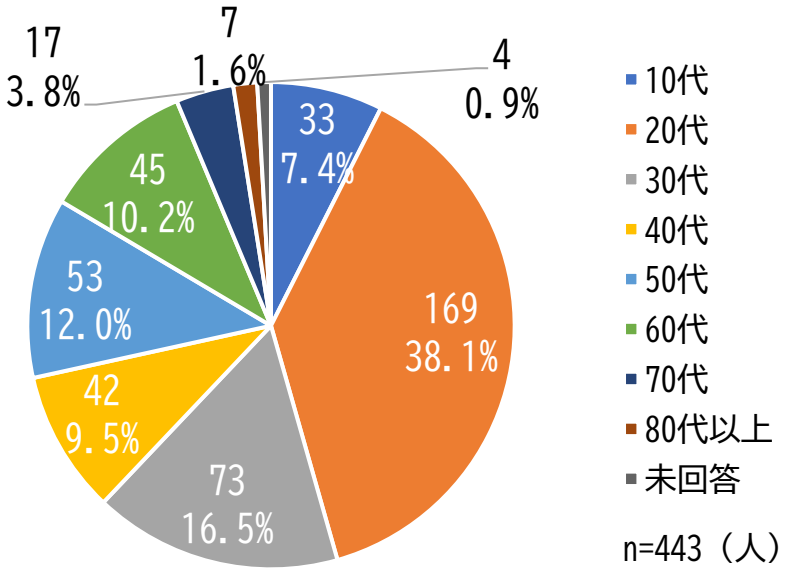
対象	箱根町に来訪する観光客
目的	宿泊税の制度内容の検討に関する意見や基礎情報を把握するため
調査方法（調査日）	対面聞き取り調査（令和７年 12 月６日（土）、12 月 10 日（水））
回答数	443 件
主な質問項目	［基礎情報］　性別、年代、居住地、来訪回数、滞在期間、宿泊料金・宿泊プラン、 ［制度内容等］宿泊税の認知度や支払い経験、支払い可能額、望ましい使い道

２　観光客向けアンケート集計結果

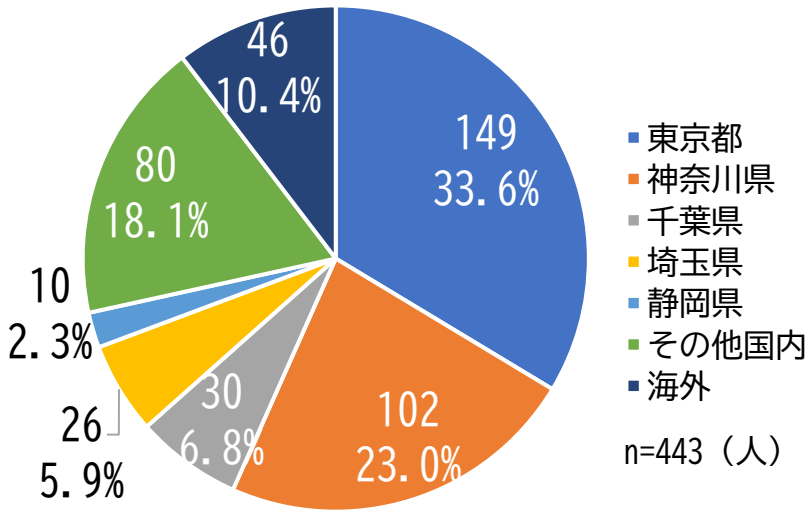
問１　性別を教えてください



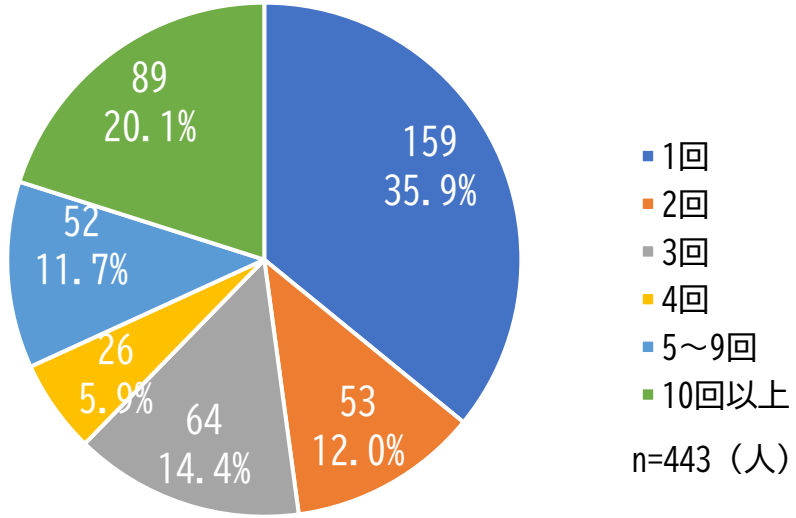
問２　年代を教えてください



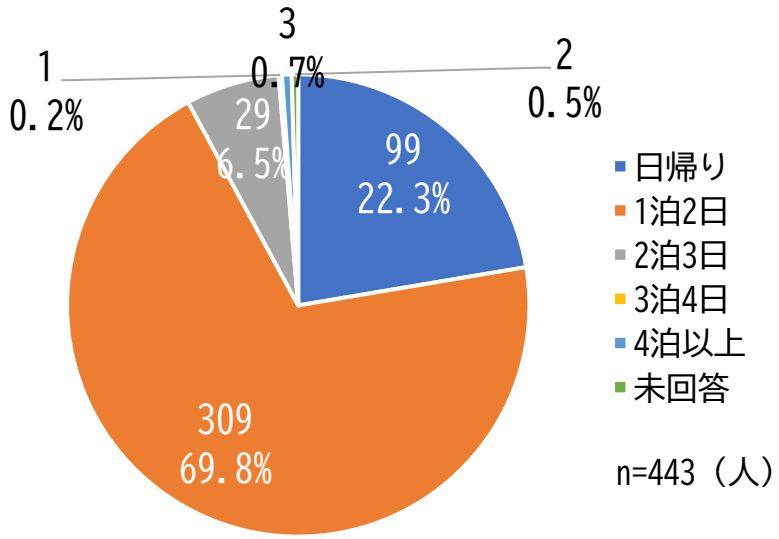
問３　居住地を教えてください



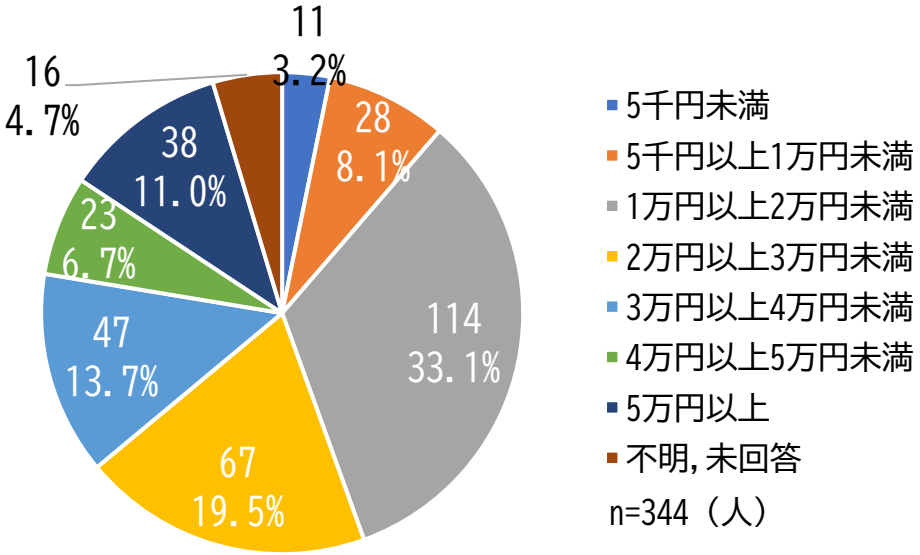
問４　これまで箱根には何回訪れていますか（日帰り含む）



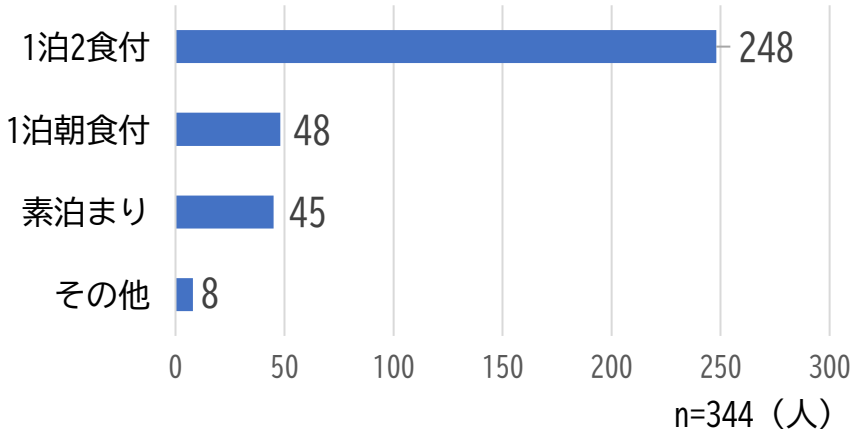
問５　今回の箱根町の滞在期間を教えてください



問６　今回の箱根町での１人１泊あたりの宿泊費を教えてください　　※宿泊費には食事代等も含む。



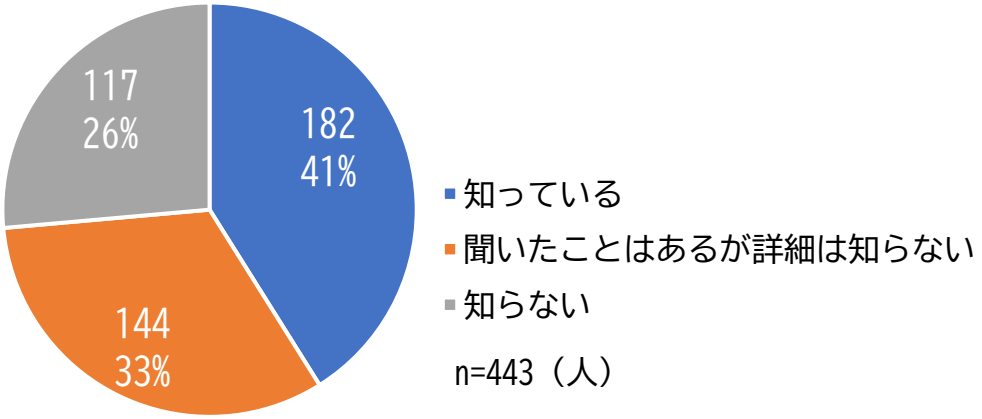
問７　今回の箱根町での宿泊プランを教えてください（複数回答可）



○「その他」の内容
・１泊夕食付　・２泊朝食付　・社員旅行
・オールインクルーシブ
・空欄［４件］

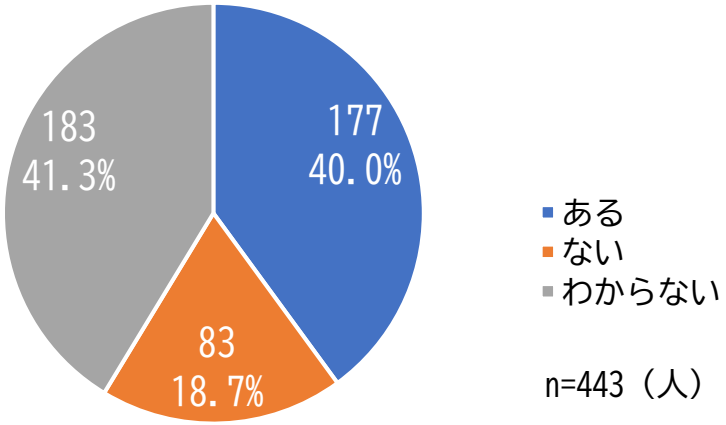
○宿泊プランは、「１泊２食付」が圧倒的に多い結果となった。

問８　宿泊税について知っていますか



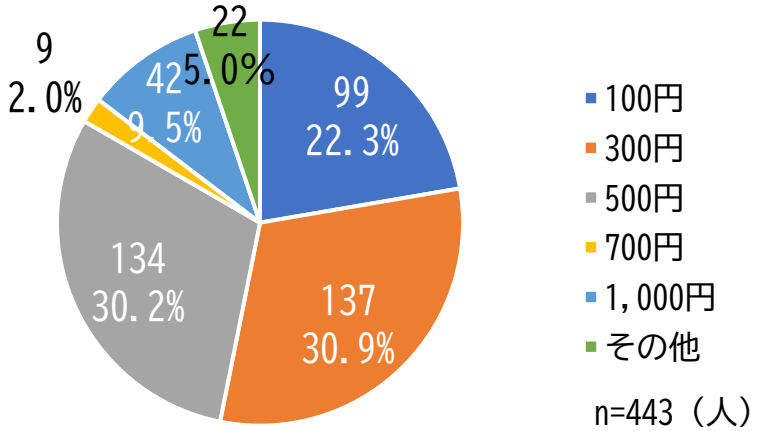
○宿泊税の認知度は、「知っている」が約４割、「聞いたことはあるが詳細は知らない」、「知らない」がそれぞれ約３割となった。

問９　これまでに宿泊税を支払ったことがありますか



○支払経験は、「ある」、「わからない」が約４割、「ない」が約２割となった。

問 10　支払っても良いと思える１泊あたりの宿泊税の上限額を教えてください



○「その他」の内容
・０円［12 件］　・宿による［２件］
・外国人と差別化［２件］
・1,000 円以上　・宿泊料の 10%
・累進課税　・宿泊代に応じて
・日本人は数百円で外国人は割高　・中国人 10 万円

クロス集計（宿泊料金／宿泊税の上限）

宿泊料金区分／宿泊税の上限	100円	300円	500円	700円	1,000円	その他	計
5千円未満	5	3	3	0	0	0	11
	1.1%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%
5千円以上1万円未満	7	13	4	0	3	1	28
	1.6%	2.9%	0.9%	0.0%	0.7%	0.2%	6.3%
1万円以上2万円未満	23	34	36	3	10	8	114
	5.2%	7.7%	8.1%	0.7%	2.3%	1.8%	25.7%
2万円以上3万円未満	21	21	16	2	6	1	67
	4.7%	4.7%	3.6%	0.5%	1.4%	0.2%	15.1%
3万円以上4万円未満	10	14	13	0	8	2	47
	2.3%	3.2%	2.9%	0.0%	1.8%	0.5%	10.6%
4万円以上5万円未満	1	6	14	0	2	0	23
	0.2%	1.4%	3.2%	0.0%	0.5%	0.0%	5.2%
5万円以上	7	10	11	3	6	1	38
	1.6%	2.3%	2.5%	0.7%	1.4%	0.2%	8.6%
不明, 未回答	2	9	4	0	0	1	16
	0.5%	2.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.2%	3.6%
日帰り	23	27	33	1	7	8	99
	5.2%	6.1%	7.4%	0.2%	1.6%	1.8%	22.3%
計	99	137	134	9	42	22	443
	22.3%	30.9%	30.2%	2.0%	9.5%	5.0%	100.0%

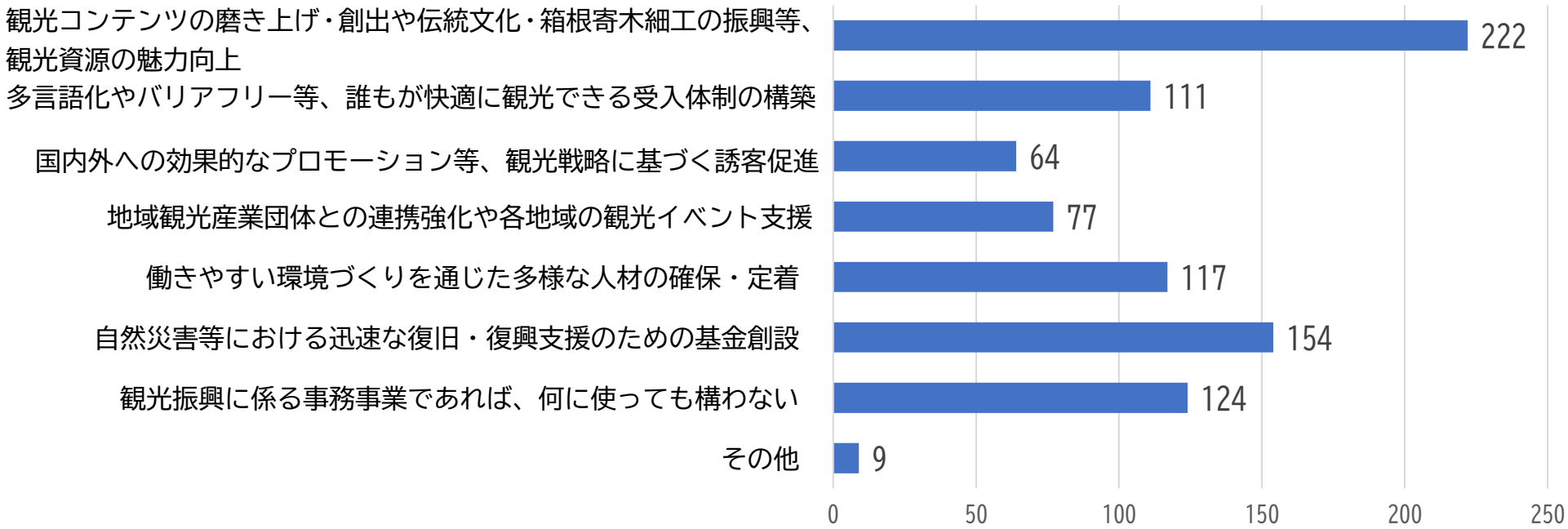
※問６（今回の箱根町での１人１泊あたりの宿泊料金（食事代等も含む））と
上記の宿泊税の上限とをクロス集計したもの

※宿泊料金区分毎に、回答件数が最多の箇所を赤、２番目に多い箇所を青で色付け

○宿泊税の上限は、「300 円」、「500 円」の順に多く、それぞれ約３割となった。
○宿泊料金とのクロス集計では、宿泊料金区分にかかわらず「300 円」、「500 円」の回答件数が多い結果となった。

問 11　宿泊税の使い道として望ましいものを選んでください（複数回答可）

① 観光振興に関する使い道

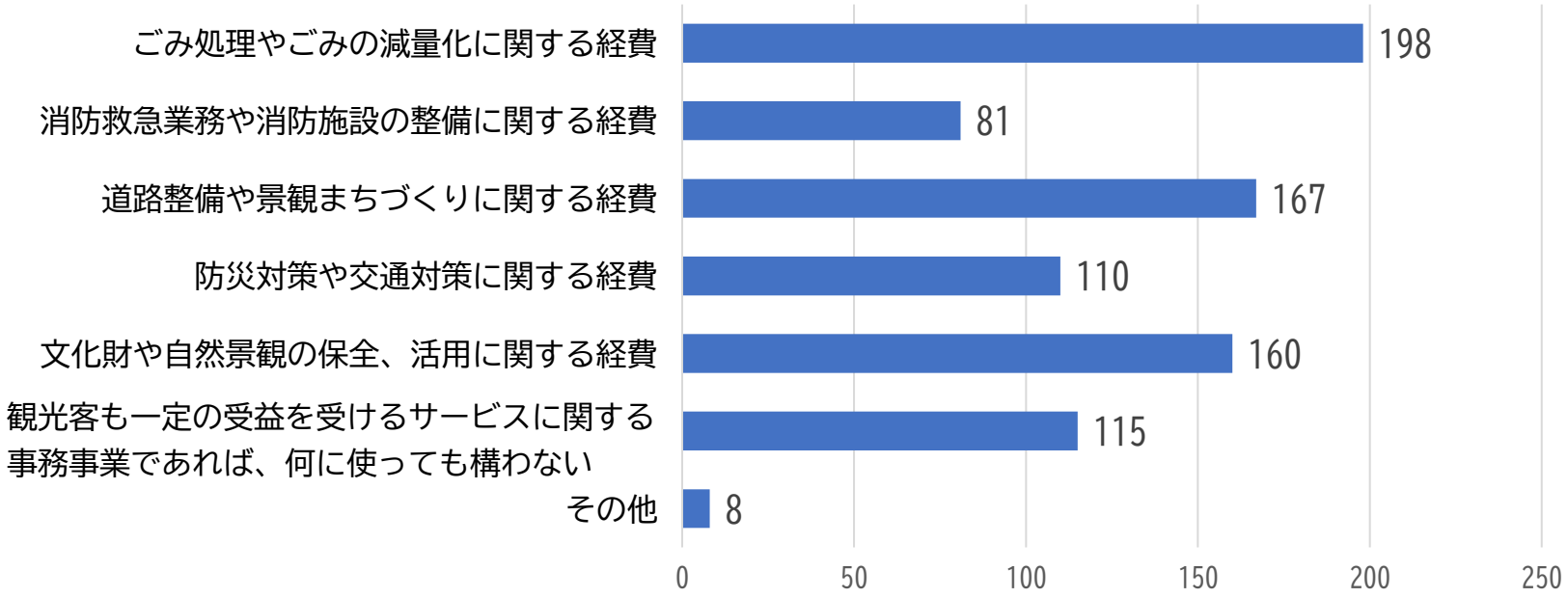


n=443（人）

○「その他」の内容
・移動や観光のしやすさ　・バスの便数　・観光設備　・環境整備（清掃など）　・ホテルの衛生管理・維持費
・宿泊税に反対　・空欄［３件］

○「観光資源の魅力向上」が最も多く、次いで「自然災害等の復旧・復興支援のための基金創設」が多い結果となった。
○「観光振興に係る事務事業であれば、何に使っても構わない」という回答も約３割あった。

② 観光客も一定の受益を受けるサービスに関する使い道



n=443（人）

○「その他」の内容
・バスの本数を増やしてほしい　・宿泊税に反対　・空欄［６件］

○「ごみ処理やごみの減量化」が最も多く、次いで「道路整備や景観まちづくり」、「文化財や自然景観の保全、活用」が多い結果となった。
○「観光客も一定の受益を受けるサービスに関する事務事業であれば、何に使っても構わない」という回答も約３割あった。

問 12　宿泊税に関するご意見等があれば、ご記入ください　［22 件］

○賛否等に関する意見　［賛成・導入は妥当：４件、特段抵抗感はない：２件、仕方ない：１件、反対：２件］

・賛成

・観光客が多いために、多くのコストがかかっているのであればそれを観光客から賄うのは良いことだと思う。どんどん進めていってほしい。

・観光地が観光客のためのお金を観光客から徴収するのは妥当だと思うので是非うまくシステムを組んで運営してより良い観光地になるようにしてほしいと思います。

・宿泊税は賛成です。 タトゥーや刺青に寛容になるべき。 海外からのお客様も多いし、今の時代タトゥー＝反社とはならんですよ。

・他自治体も導入しているので、特に抵抗感はないです。　・多額の額を取られるのでなければ問題ありません。

・仕方ない。

・なるべく安く泊まりたいです。

・ゆるさない。

○使い道に関する意見［４件］

・箱根の景観維持や観光名所のためになら導入しても良いと思う！

・人気観光地を維持するための安定した税収になればよいと思う。

・観光地の環境を維持してくためには必要なことだと思う。インバウンド問題もあったり、もっと日本の人々に足を運んでもらうためにも。

・ちゃんと使ってください。

○制度内容に関する意見　［税額設定の考え方：１件、外国人との差別化：４件］

・定率より定額がいい。

・日本人以外を対象に。　・外国人から多くとってほしい。　・海外から来ている観光客には倍ぐらい取ってもいいと思います　・海外の人は高くしてもいいと思います。

○その他の意見［４件］

・がんばれ。

・駐車場がなくて困りました。

・以前インフルエンザでキャンセル料を 100%払ったのですが宿泊税も取られました。 泊まってないのに宿泊税を取るのはどうかと思いました。

・特に意見はない。